

府民意識等調査結果【概要版】

1 環境に関する意識調査

大阪府クイックリサーチ「おおさかQネット」(事前登録制のモニターアンケート)を活用して実施

【実施期間】平成 21 年 9 月 28 日～10 月 8 日

【回答者数・構成】

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
性別	男性	6	25	133	190	76	93	23	3	549
	女性	2	88	531	314	79	40	6	1	1061
合計		8	113	664	504	155	133	29	4	1610

2 大阪の環境の状況・施策等への意見募集

ホームページ等を活用し、「大阪の環境への想い」を募集

【実施期間】平成 21 年 7 月 28 日～10 月 30 日

【意見提出件数】25 件

上記意識調査の設問に、自由記述欄を設置

【意見の記載件数】734 件

結果の概要

1 環境に関する意識調査

【大阪の環境の現状認識及び10年前との比較】 Q 1、2

- ・ 環境の現状について、「かなり良好」「良好」とした割合は、各項目とも概ね1割以下であったが、「リサイクルの状況」は他と比べて高く、約2割であった。「熱環境(暑さの状況)」については、約3割が「かなり悪い」と回答した。
- ・ 10年前との比較について、「かなり良くなった」「良くなった」と回答した割合は、「リサイクルの状況」では約7割、水環境については約4割であった。「熱環境(暑さの状況)」については、約6割が「悪くなった」「かなり悪くなった」と回答した。

【環境問題への関心】 Q 3

- ・ 「地球温暖化」「自然環境」「生活環境」に分けて質問したところ、総じて9割以上が「関心がある」「やや関心がある」としており、項目間で大きな差はなかった。

【今後10年間で大阪府が力を入れるべき取り組み】 Q 4

- ・ 「地球温暖化・ヒートアイランド対策」が突出して高く、次いで「廃棄物の減量化・リサイクルの推進」、「海や河川等の水環境の保全」、「自然環境・生物多様性の保全・再生」の順であった。

【自宅等での環境を良くするための取り組み】 Q 5 ~ 1 2

- ・ 取り組みの実践状況について質問したところ、項目によって差が大きい、「油や食べ物の残しを流しに流さない(Q 5)」、や「ペットボトル等をリサイクルに回す(Q 6)」、「不要な照明をこまめに消したり、テレビを点けっぱなしにしないように心がける(Q 6)」については、9割近い人が実践していた。一方で、「環境に関するボランティア活動等に参加する(Q 8)」や「まちや森林等のクリーン活動に参加する(Q 8)」について実践している人は1割以下であった。
- ・ 取り組みを促進するための方法について質問したところ(Q 1 2)、「取り組むと家計が助かるような仕組みが整備される」を選択した人が最も多かった。

【環境に関する情報】 Q 1 3、1 4

- ・ 特に関心のある情報について質問したところ(Q 1 3)、「身のまわりの環境の状況(大気の汚染状況や川や海の水質の測定結果等)」や「日常生活での環境を良くするための取り組みの紹介」等、普段の生活と関連の深い項目を選択した人が多かった。
- ・ 情報の入手源としては(Q 1 4)、「新聞・テレビ等のマスコミ」が突出して高かった。

【環境を良くするために今後有効な方法】 Q 1 5

- ・ 有効であるとの回答が最も多かった項目は、「環境に配慮した行動をとると、経済的なメリットがあるような仕組みを整備する」であった。

2 大阪の環境の状況・施策等への意見募集

分野		意見数 ()	意見の例
不法投棄・ポイ捨て		71	
主な意見	街や公園、道路へのポイ捨て	38	街や道路端、緑地等への空き缶、ペットボトル、吸殻等のポイ捨てが多すぎる。 ポイ捨てが多い場所は決まっているので、そこを重点的にきれいにして、ポイ捨てしにくくさせるべき。 個々のマナーに訴えるのは限界がある。罰則も検討すべきではないか。
リサイクル・ごみの分別		136	
主な意見	家庭ごみの分別	47	府内でも、市町村により分別方法が異なっている。統一したほうがわかりやすい。 もっと、ごみの分別を徹底すべき。大阪の分別は甘い。
	分別の意義	26	分別を実行していても、それが具体的にどの程度の効果になっているのかが見えてこないの で、モチベーションが上がらない。 分別後のごみはきちんと再資源化されているのか。詳しく知りたい。
地球温暖化		32	ソーラーパネル等に思い切った補助を行い、みんなが気軽に使えるようにしては、 地球温暖化対策として、具体的に何をすれば良いのか、何が一番環境に大切なのか、的確な 情報がほしい。
ヒートアイランド		16	ビルの屋上緑化等により、ヒートアイランド現象を抑え、夏の暑さをなんとかしてほしい。 夏場のミストを見かけたことがあり、大変良かったと思った。
大気		22	大阪の都市部は空気がきれいではない。空気がきれいな都市づくりを期待する。
自動車・交通		36	自動車からの排ガス・CO2等の削減をしてほしい。 公共交通機関や自転車を利用しやすくすべき
大阪湾		16	海辺に魚などに触れあえる場を造れば、その場が大阪湾の水質底質改善を図り、豊かな生態 系を再生するのでは。 大阪湾の海水流動をこれ以上低下させない方策をつくり、豊かな大阪湾を再生してほしい。
河川		67	河川の水質は、以前よりはよくなってきていると感じているが、まだまだきれいになったとは言 えない。 水質を改善してほしい。 水都大阪を誇れるように、今後も環境美化に向けて努力を続けて欲しい。 こどもが安心して川遊びなどができる川が近くにあってほしい。
有害化学物質・土壌汚染・悪臭・騒音振動		10	生活に必要なでない物で汚染に繋がる物を減らしてはどうか。(芳香剤など) 自動車・バイクの騒音の防止に努めてほしい。
自然		51	自然環境が少ないと思う。 今残されている自然環境の保全と自然再生の両立が大切では。 子供のころから自然に触れ合える環境をつくってほしい。
緑化・公園		72	大阪は緑が少ない。 公園や建物の屋上なども、もっと緑化すべき。
景観		6	街並みの景観も整備が必要。(道路にはみ出した陳列、広告、放置自転車、違法駐車など)
その他環境全般について		309	
主な意見	一人ひとりの意識	74	一人ひとりの意識が重要。一人ひとりの心がけて変わってくるのでは。
	府の情報発信の重要性	33	環境が良くなった時のメリットや、将来のマイナス面等をしっかりアピールしてほしい。
	環境学習・イベント	26	子どもの時からの教育が大事である。子どもが学ぶことで保護者にも伝わる。
	メリットの必要性	29	大阪の人はまず「やって得か損か」で行動する傾向が他の県民より高いので、環境に対する 取り組みをすれば得をするポイント制が有効ではないか。

同一者が複数分野にわたる意見を記載した場合、各分野ごとに一件としてカウント。